



いつもユネクスイーエフをご使用頂き誠に有難うございます。
FMD News Vol. 9をお届けいたします。

7月のTOPICS

- ユネクスイーエフを用いた新しい論文が発表されました
- ハンズオンセッションのご案内

■ 血管内皮機能低下が認知症の発症と関連する

アルツハイマー型認知症(AD)でも血管性認知症(VaD)と同様に生活習慣病に関わる高血圧、糖尿病、脂質異常、肥満、喫煙、飲酒歴などの動脈硬化性要因が発症リスクになる事が知られている。
今回 FMD を用いて AD 及び VaD の 2 つの認知症と血管内皮機能障害の関係を評価し、他の血管機能評価の検査と比較検討した。

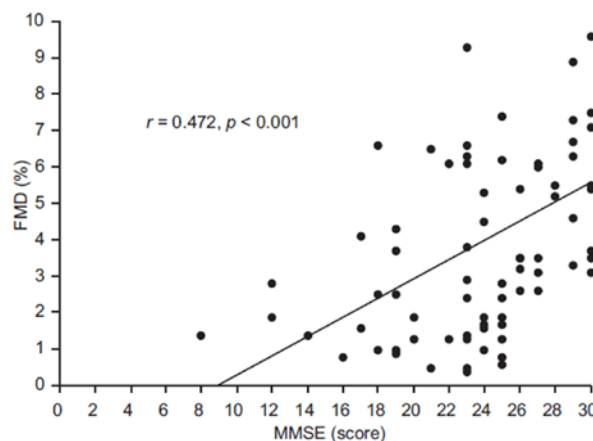
AD 患者 27 名、VaD 患者 23 名、Control 26 名の 3 群を対象とし、FMD、Ankle-Brachial Index ; ABI、Cardio Ankle Vascular Index ; CAVI、Intima-Media Thickness ; IMT を測定した。

各群の FMD 値は、AD $3.16 \pm 2.28\%$ 、VaD $2.62 \pm 2.07\%$ 、NC $5.94 \pm 2.49\%$ であり、AD 群、VaD 群は Control 群に比べ FMD が有意に低値であった ($p < 0.001$)。FMD 以外の血管機能検査 (ABI / CAVI / IMT) では AD・VaD・Control 各群での差は見られなかった。重回帰分析では、FMD は動脈硬化因子とは独立して MMSE と有意に相関関係を認めた ($p < 0.001$)。

AD 群で FMD の低下を認め、AD の病態に血管内皮機能障害の関連が示唆された。他の動脈硬化の検査の結果と異なり、FMD が認知症各群と Control 群で有意差を示した事より、血管内皮機能低下が認知症の発症と関連する。

	AD (n=27)	VaD (n=23)	Controls (n=26)	P Value
FMD, %	3.16 ± 2.28^a	2.62 ± 2.07^b	$5.94 \pm 2.49^{a,b}$	< 0.001
ABI	1.13 ± 0.07	1.11 ± 0.17	1.11 ± 0.11	0.296
CAVI	9.16 ± 1.12	9.53 ± 1.34	8.88 ± 1.56	0.749
IMT, mm	0.89 ± 0.23	0.89 ± 0.30	0.84 ± 0.18	0.832

a: Significant difference between the AD and control groups.
b: Significant difference between the VaD and control groups.



MMSE (Mini Mental State Examination : ミニメンタルステート検査) … 痴呆の診断用に米国で 1975 年、フォルスタインらが開発した質問セット。30 点満点の 11 の質問からなり、見当識、記憶力、計算力、言語的能力、図形的能力などをスコア化し評価する。

文献情報 : Hisatsugu T, et al. : Am J Alzheimers Dis Other Demen. 2016 Jun 9.

■ ハンズオンセッションのご案内

第 16 回診断技術向上セミナー

日時 : 2016 年 7 月 14 日 (木) 8:55 ~ 16:50
会場 : 第 48 回日本動脈硬化学会総会・学術集会 会場

本セミナーのプログラム内にて、ハンズオンセッション : 明日から使える! 動脈硬化非侵襲診断法の実技指導が行われ、FMD の実技指導が行われます。

場所 : 京王プラザホテルの第 7 会場・第 8 会場 (本館 42F 高尾・富士)
日時 : 2016 年 7 月 14 日 (木) 15:20 ~ 16:50